

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

区分		11月中			11月末		
		増減	比率	増減	比率		
死者	24時間死者	15	-9	1.00	163	+6	1.00
	30日死者	3	+1	0.20	35	-1	0.21
	30日以内死者	18	-8	1.20	198	+5	1.21

区分		10月中			10月末		
		増減	比率	増減	比率		
死者	24時間死者	464	+1	1.00	3,869	-22	1.00
	30日死者	80	-1	0.17	704	+25	0.18
	30日以内死者	544	±0	1.17	4,573	+3	1.18

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の 倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は35人(-1人)、「24時間死者」は163人(+6人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は198人(+5人)であり、「24時間死者」の1.21倍の比率となっている。

(3) 特徴(30日死者の構成率)

地区別 神戸12人(34.3%)、東播7人(20.0%)、阪神5人(14.3%)、西播4人(11.4%)、但馬3人(8.6%)、淡路3人(8.6%)、高速1人(2.9%)の順で発生している。

状態別 自転車乗用中12人(34.3%)、自動車乗車中8人(22.9%)、歩行中8人(22.9%)、自動二輪乗車中4人(11.4%)、原付乗車中3人(8.6%)の順で発生している。

年齢層別 65歳以上が16人(45.7%)、25~64歳が14人(40.0%)、16~24歳が4人(11.4%)、15歳以下が1人(2.9%)の順で発生している。

経過日数別 10日以内の死亡が25人(71.4%)である。

損傷部位別 頭部の損傷が25人と71.4%を占めている。

